

戸茨路篠報

第101号

令和5年1月20日

篠路茨戸連合町内会

発行責任者 進 藤 幸 司
編集責任者 田 村 美智代



「新年明けましておめでとうございます」

篠路茨戸連合町内会 会長 進藤 幸司

皆様には明るい希望に満ちた、令和五年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
新型コロナウイルス感染症が、市内で確認されてから約三年を過ぎましたが、私達の日常生活は、コロナ禍の再拡大により、昨年より依然として外出の制限や多くの町内会行事などの中止を余儀なくされました。

会員相互のふれあい、情報交換、そこから流れる懇親会などが阻害され、収束の見えない状況ではありますが、新年度は創意工夫により、各行事の規模を縮小しながらでも、開催できることを願うばかりです。
札幌市は、町内会条例を令和五年四月一日より施行する予定です。この条例の目的は、町内会が地域のコミュニティの中核であり、今後も維持されるべき存在であることを町内会・地域住民・事業者及び札幌市が認識し共有するのが主な内容であります。しかし少子高齢化や世帯構成等の変化、共同住宅等の増加や生活様式や個人の価値観の多様化に伴い、町内会の加入率の低下や役員の高齢化、担い手不足により、各町内会が抱える共通の課題であります。

三十年ほど前は、葬儀など町内会がすべて取り行っており、（葬儀委員長・受付・司会・会計・食事の支度など）その中で会員間の交流ができ、役員などを依頼することができましたが、現在は、そうした葬儀はほとんどありません。

また、定年の延長や年金の支給年齢の引き上げなどで、現在は、七十歳を過ぎて働く時代であり、このような社会情勢の変化にも影響があります。

やはり、役員の負担軽減など考慮しながら、地域住民が交流できる夏祭りや盆踊り、防災訓練での炊き出しなどの行事を開催することにより、住民から役員になりたい、または、町内会に加入したいと思わせるような、事業を考える等の、情報発信が重要であると思います。

篠路駅周辺地区整備事業につきましては、道道花畔札幌線の歩道と車道の拡幅工事が一部遅れておりますが、令和八年度ごろ完成予定です。篠路駅前郵便局の手押し信号機を篠路駅東通りと、道道花畔札幌線の交差点へ移設の件につきましても、令和八年度ごろ完成予定となっております。

なお、篠路駅東側等の土地地区画整理事業、鉄道高架と周辺の道路整備につきましても、現在のところスケジュール通り進んでおりまして、令和十二年度ごろ完成予定、更には、横新道の拡幅工事は、令和七年から道路整備が始まり、令和十三年ごろの完成予定となっております。また、鉄道高架により、（一七〇メートル）学田作場踏切、札幌篠路線踏切（横新道）、丸ヶ街道踏切の三箇所が除却されることにより、現在は、鉄道を横断する交通が集中し、慢性的な交通混雑が生じておりますが緩和されることとなります。

篠路茨戸連合町内会は、活動を自覚しながら一層努力を尽くしてまいります。昨年同様、皆様方の温かい、お力添えとご理解を申し上げ、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

謹賀新年

篠路茨戸連合町内会役員

会 長	進 藤 幸 司
副 会 長	白 戸 黎 一
副 会 長	吹 田 嘉 弘
総 務 部 長	梅 内 敏 光
庶 務 部 長	島 田 捷 利
会 計 部 長	吉 田 剛
広 報 部 長	田 村 美 智 代
環 境 部 長	畑 中 剛
防 災 防 犯 部 長	小 野 紘 一
社 会 部 長	藤 林 昭 二
交 通 部 長	矢 瀬 章
文 化 部 長	大 沼 満
女 性 部 長	宇 内 光 枝
女 性 副 部 長	九 石 和 恵
女 性 副 部 長	阿 部 栄 子
監 事	井 形 信 広
監 事	山 口 重 則



「新年のご挨拶」



篠路出張所

(篠路茨戸まちづくりセンター)

所長 上 口 敦 史

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素より、篠路出張所及び篠路茨戸まちづくりセンターの運営に対しまして、皆様方の深いご理解と多大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、皆様方には、ご高齢の方や子どもたちへの見守り活動や日常の防災・減災など、多くの身近な課題に取り組んでいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

地域の皆様が、これからもずっと住み続けたいと思えるような社会を築くには、地域と行政がそれぞれの力を発揮してまちづくりを進めることが重要です。

今年はいよいよ、地域協議会や検討委員会での議論を経て、篠路駅周辺地区のまちづくり計画が策定される年でもございます。

篠路出張所では、地域のまちづくりを積極的に支援してまいりたいと考えておりますので、より一層のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

終わりになりますが、篠路茨戸地区の益々のご発展と、皆様方のご健勝をお祈

りいたしましたして、年頭の挨拶といたします。

「年頭のあいさつ」



篠路茨戸地区社会福祉協議会

会長 白 戸 黎 一

新年あけましておめでとうございます。

平素から篠路茨戸地区社会福祉協議会の活動にご協力、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

令和三年十月に篠路出張所が隣地に新築移転したと同時に当社会福祉協議会も新築の出張所内の一角に移転同居してまいりました、その後、旧出張所の改築が令和四年八月終わったことにより旧出張所に戻り一階の奥に引っ越しをいたしました。

新事務所は以前より面積も多少広くなり事務机、備品等も新調したことで大変明るく清々しい事務室になりました、ご利用の際にはお立ち寄りください。

お立ち寄りには篠路出張所を通らずとも北東角の旧出張所の出入り口から入室が可能となっており、コピー機が入口ドアのそばに配置されております。

令和四年度も残すところ僅かとなって

まいりました。相変わらず長期化する新型コロナウイルス感染症の中にあつて計画していた五月の評議会は今年度も書面決議となりました。十月以降新型コロナウイルスが徐々に減少傾向を示したことで各諸団体の行事も活発化の傾向に動いたことから十一月には中学校等の体験福祉活動の集いを開催いたしました。

十二月に入り新型コロナウイルスが再度感染拡大したこと、会食の自粛、入場者数の制限、事前受付等々の感染防止対策を徹底したことにより、苦しい決断をもって、子供餅つき会の開催にこぎつけることができました。

また、政策面から従来から十分に機能していなかった福祉のまち推進委員会の統括部会、福祉部会、児童・母子福祉部会等がそれぞれ活発に活動を展開したことに、より幅広い全員参加型の組織的活動の醸成に向け着々と実践しながら成果をあげつつあります。

従来から当連合町内会と共催の赤い羽根共同募金は、今回は総会を開催したことにより各委員のご協力を頂きながら各町内会・事業者、皆様等の貴重な募金により順調に終わらせることができましたことを、この紙面をお借りしまして深く御礼申し上げます。

見守り活動については当連合町内会、当民児協議会、当社協の共催により各町

内会が平成二十三年から始めましたが、この間、会長・役員の交代等もあり当時の機運も弱まり活動実績数も下がっている傾向等から、対象者数を絞りできうる範囲内において、まず第一歩を踏み出すことをお願い申し上げます。

最近では当地区町内会においても孤独死が相当日数を経過して発見に至るケースも散見されており、これからも新型コロナウイルス感染による人的交流の不足、高齢単身者・病弱者等々の増加が今後も見込まれます。

このため、日常の接触機会が多い身近なご近所、町内会等が日頃から気配りして公的機関に連絡、繋げるのが町内会活動としてあるべき姿、組織だと考えております。

さて新しき年を迎えるにあたり、安心、安全、支え合う住みよい街づくりに向けて邁進すべく今後とも皆様のご協力、ご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

今年こそは御家族の皆さまが希望に満ちた良き新年を迎え諸関係団体の活動が活発順調にできうる普通の生活を取り戻せることを切に願っております。

「年頭のあいさつ」

篠路茨戸地区民生委員児童委員協議会

会長 折 日 尚 愛

新年明けましておめでとうございます。本年が地域の皆様にとって実り多き年でありますようご祈念申し上げます。

さて、令和二年の初頭から始まった、新型コロナウイルス感染症において地域の皆様も不安な日常生活を送られて来たと思います。私達民生委員・児童委員もコロナ禍の中一部の活動自粛もありましたが、地域福祉活動を止めることなく行つてまいりました。当初活動の中で不安を訴える高齢者からの相談も多くありましたが、今では経済活動やイベントも徐々に再開され、多くの高齢者の皆様も外出を楽しんでおられるようで、徐々にではありますが、コロナ禍前の日常にもどりつつあることを感じております。又、私達民生委員・児童委員も地域の皆様からの多様な相談に応じられるよう研修会などに参加して、識見の向上に努めておりますので、お困りのことやご不安がございましたらお気軽に地域の民生委員にご相談ください。

篠路茨戸地区民生委員児童委員協議会では、地域の子育て支援として子育てサロン(ピヨちゃんタイム)を主催しております。〇歳児から就学前のお子さんを対象

に毎月第三木曜日十時から十一時三十分頃まで篠路児童会館において開催しております。自由遊びを中心に行政関係などの情報も発信しておりますので、お気軽に遊びに来て下さい。

これからも、地域の皆様に寄り添った活動をしてまいります。

民生委員・児童委員は、あなたの一番身近な相談員です。

「年頭のあいさつ」

札幌市篠路茨戸地区青少年育成委員会

会長 清水 和 夫

新年おめでとうございます。

地域の皆様におかれましては、青少年の健全育成と非行化防止に、格別なるご理解と心温まるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

感染症防止の観点から約二年にわたり活動の変更や中止を余儀なくされておりましたが八月二十七日、篠路小学校体育館にて「篠路茨戸地区少年少女スポーツ大会」九月十一日には「親子ふれあいの旅」を丘珠駐屯地・大倉山ジャンプ競技場・円山動物園を見学先として三年ぶりに開催いたしました。今年二月十二日には「第四十六回のろばらとスノーフェスティバル」を、内容を縮小し開催いたしますの

で、ご来場をお待ち申し上げます。

今年も地域の皆様と共に安全安心な篠路茨戸の街づくりを念頭に置き、活動して参りますので、変わらぬご指導とご協力をお願い申し上げ、年頭の挨拶いたします。



少年少女スポーツ大会

「年頭のあいさつ」

篠路茨戸地区子ども会育成連絡協議会

会長 三 上 照 栄

明けましておめでとうございます。
新しい年がやってきましたね、コロナウィルス感染症とは早くお別れしたいものです。

町内会子ども会は、たなばたやクリスマスなどでお菓子を配るだけにしようとして、篠路茨戸地区子ども会では夏まつりを休止しておりました。昨年やつと内容を変えて実施することが出来ました。例年は、団体ゲームと個人ゲームを行っておりましたが、密を避けるため個人ゲームだけにしました。

参加者が少ないのではと心配しながら当日を迎えましたが、予想に反したくさんの親子が遊びに来てくれました。皆さんウップンが溜っていたのでしょうか、大いに楽しんでもらえたようでした。実施して良かったと思いました。

今年度は、例年通りに行事が行えるようにと願い、気を引き締めて頑張っているように思っております。

「特殊詐欺」被害防止等の街頭啓発活動の実施

篠路・茨戸地区防犯協会

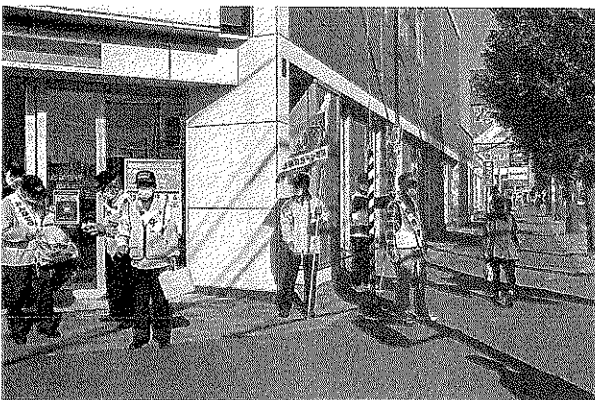
会長 伊 藤 英 夫

当防犯協会は、高齢者の年金支給日に併せ、去る六月十五日の街頭啓発活動に次いで、十月十四日(金)また十二月十五日にも平素より地域の防犯及び交通安全活動に携わる約六十人の参加のもと同活動を展開しました。

道内でも「振り込め詐欺」「オレオレ詐欺」「還付金詐欺」等のいわゆる「特殊詐欺」で高齢者が多額の現金を詐取される被害が続出しております。

高齢者が老後資金としてコツコツと蓄してお金を一瞬にしてだまし取られており、被害者の本人としては一生の悔いを残すものであります。

これが被害者の絶無をはかるため、金融機関が多く所在する北洋及び道銀前交差点付近を中心に、交通事故防止活動を併



防犯街頭啓発活動

せた多角的街頭啓発を実施しました。

この活動には、北警察署の渡辺生活安全課長及び係長や地域の交番の警察官の参加をはじめ札幌北防犯協会連合会の坂田会長や篠路茨戸連合町内会の進藤会長・篠路茨戸まちづくりセンターの上口所長にも来賓参加を願うご挨拶を頂きました。今後とも、各種犯罪の発生状況に対応した防犯諸活動を展開する所存でありますのでよろしくご支援を願います。

「分区創立七十周年記念祝賀会の開催」

札幌市北区保護司会篠路茨戸分区

分区長 吹田 嘉弘

新年あけましておめでとうございます。日頃より当会の諸活動に対しまして、ご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、当会の創立七十周年を迎えたため、令和四年十一月十三日(日)市内のホテルにおいて、「札幌市北区保護司会篠路茨戸分区創立七十周年記念祝賀会」を開催いたしました。当初は、地域の関係団体の皆様にご参加していただく予定でしたが、コロナ禍のため、北区保護司会の役員を主として二十八名の参加となりました。

当会は、昭和二十七年に四名の保護司が委嘱され誕生し、現在十一名の会員に

て活動し現在に至っております。

最後に、本年も地域の安心、安全をめざし地域の皆様と連携を取りながら進めて参りたいと思えますので、よろしくお願い申し上げます。



祝賀会参加者

「活動報告」

篠路文化団体協議会

会長 今井 巧

新年あけましておめでとうございます。当団体が例年活動しております【芸能の集い】発表会がコロナ禍の影響で、昨年は三年ぶりに十月に共催として、篠路コミュニティセンター・篠路茨戸地区社会福祉協議会のご支援をいただき開催されました。

来賓として、篠路出張所所長上口様・篠路茨戸連合町内会会長進藤様・札幌市東区文化団体協議会副会長二名が参加されました。

出演者は、八団体・個人・来賓三十九名でロビーでは、書道・写真・藍染等が展示されました。

入場者は約二〇〇名ほどでした。御来場いただいた皆様には心より感謝申し上げます。

地域文化の向上に微力ながら尽力できますことを厚く感謝申し上げます。活動内容のご報告といたします。



芸能の集い出演者

「地域の単身高齢者・高齢者世帯への生活支援」

「篠路チヨコットお助けたい」

代表 中島 重夫

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
高齢化社会にともない、日常生活に困難を伴う事が多くなつて来ます。

「チヨコットお助けたい」は地域の高齢者の困りごとを支援する有償ボランティア組織です。活動して今年で五年目を迎えますが、昨年二月の大雪は連日除雪依頼による支援を行いました。除雪の排雪場所が無く困難な作業となりました。春先の畑起こしか夏場の草刈・枝払い、秋口の冬囲い、冬の除雪と年間を通して支援しております。

誰でも高齢者になり
ます、助け
助けられる
はお互い様、
地域の各組
織様が高齢
者の支援輪
を拡げ安心
して住める
地域となる
事を願って
おります。
明るい一



チヨコットお助けたいの皆さん

年になりますようお祈り申し上げます。
本年も宜しくお願い申し上げます。

「篠路チヨボラ会」

事務局長 奥山 睦

チヨボラ会の活動も十三年目、を迎えますが、令和四年度も新型コロナ感染の収束が見えない中で制約された活動を続けております。旧琴似川河川敷の花壇、桜樹木の維持・管理、草刈等を主とした活動、九月には滑り止めペットボトル作製、ゴミ拾いウォーキング、そして地域の団体が開催するイベントの支援などを出来る時、出来る事を、出来る人が参加してやってきました。

三月初旬頃に地域の高齢者の皆さんを対象に防災関係のテーマー篠路茨戸地域の気候的地勢学的特徴を踏まえた出前講座を実施予定です。ぜひとも、ご期待頂き参加下さい。



9月27日滑り止めペットボトル作製

「年頭のあいさつ」

副会長 白戸 黎一

篠路茨戸地区の皆様には新年あけましておめでとうございます。

令和二年度に副会長を拝命し、時の経過の速さを感じながら、あつという間に三年間が過ぎ去ろうとしています。

副会長を仰せつかつてから自分の足跡を振り返りますと何かを残せたのかと責任の重さを痛感している次第であります。また、当連合町内会の経験が乏しい中周囲の皆様のご協力を頂きながらなんとか無難に勤めておりますことを御礼申し上げます。

しかしこの三年間は「夏祭り&盆踊り」「紙袋ランタン祭り」「地区新年交礼会」等々の重要行事が新型コロナウィルスの感染拡大により中止せざるを得ない日々を過ごす中、残念ながら今年度も終わろうとしております。

現代医学の進歩により新型コロナウィルスのワクチンを開発したものの六カ月ごとの接種が今後必要とされ、この先何時まで続けられよいか判然とせず、またいつ、収束するのかが専門家でも予測不能の状況が続いており一日も早い特效薬の開発を望んでやみません。

当連合町内会は令和五年には七十周年を迎えます。今日まで諸先輩が築いてき

た歴史ある当連合町内会を益々充実、発展すべく会長を先頭に役員一同頑張つてまいります。

今後とも、変わらないご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

「年頭のあいさつ」

篠路茨戸連合町内会

副会長 吹田 嘉弘

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、ロシアによるウクライナ侵攻、長引くコロナ禍、物価高など私たちの生活も影響が少なからず及んでいることと思います。連合町内会においても夏祭りなど主要な行事が中止となりましたが、篠路駅前東側の清掃活動や、防災研修会などいくつかの事業を実施することができました。

また、篠路出張所の移転に伴い、連合町内会や関係団体の資材移動作業があり、苦勞しながら作業を終えることができました。

マニュアルがない初めての作業は、戸惑いが多く先に進むスピードが遅くなり、「失敗したらどうしよう」と誰しも思ってしまうですが、ある本に書かれていたことです。「失敗を楽しもう」ということ、どうしてそうなったのかと考え、分からな

くなったときは誰かに協力してもらい、ど心に余裕を持ちたいものです。

今年は、どのような年になるのか、自分の気持ちしだいで変わっていく氣もします。最後に、今年が皆様にとりまして輝かしい一年になりますことをご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

「年頭のあいさつ」

総務部長 梅内 敏光

明けましておめでとうございます。

御家族お揃いで穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

コロナ禍も三年を経過、変化自在に姿を変え、いまだ収束の弱みを見せないまま、波状山谷の繰り替えしを続けております、このため、連合町内会活動も大きな行事はことごとく中止を余儀なくされ、悔しい月日を重ねてまいりました。

この機に総務部長の役を仰せつかり、霧中に一步一步進める牛歩の志も、コロナ禍に足をすくわれ、身の置き所も見失いかねない日々を味わってまいりました。

このままではいいはずはない、すでに耐えも限界、ならば今なにを：過去の運営を紐解き、業務のマニュアル化を進め情報の共有を図りたく、今出来る可能なことを精一杯果たしていこうと思ってい

ます。

ワクチン接種も浸透が進み、口徑薬の開発も成果を上げていると聞き及び、少しずつですが現況からの脱出を期待できるようになってきました。

一年後、良い年だったと語れることを願って努力したく、ご支援くださいますようお願い申し上げます。

皆様のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

「年頭のあいさつ」

会計部長 吉田 剛

年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃から篠路茨戸連合町内会の活動にあたり、温かいご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症については、いまだに予断を許さない状況となっております。篠路茨戸連合町内会に関わる活動についても、その都度、関係機関からの情報をもとに、開催の可否・規模等について丁寧な協議が行われてきました。

また、世界状況や日本の国内事情から物価高騰がどこまで続くのか、見通しがつかない状況でもあります。ご家庭への経済負担増と同様に連町の支出に対して

も頭を悩ますところです。今の苦しみが、この先の豊かな生活を迎えるための生みの苦しみと信じて、次年度以降の会計計画について工夫をして参りたいと存じます。

本年も皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

「新しい景色」を求めて

篠路茨戸連合町内会

庶務部長 島田 捷利

令和四年十二月六日未明に試合開始のワールドカップ・カタール大会決勝トーナメントで日本対クロアチア戦が始まった。

サムライブルーの応援する中、惜しくもPK戦で負けましたが、夜中ビールを飲みながら静かに観戦していました。

世情が不安定で庶民は精神的に「うつ」になっている時、このワールドカップは安定剤を投与されたごとく清々(すがすが)しさを感じたものです。

就寝したのは朝の四時でした。

篠路茨戸連合町内会もサムライブルーにあやかっ「新しい景色」を見る連合町内会にしていきたいと新年の誓としたところです。

札幌市では「札幌市未来へつなぐ町内会

ささえあい条例」が公布され、町内会の活性化を図ろうとフォローアップしていきます。

実態は町内会の役員の担い手が見当たらず、年々引継ぎが難しくなっていることとです、特にこのコロナ禍でイベントが停滞すると人々の交流が殆どなくなってきたことが、悔やまれます。

新型コロナウイルスもインフルエンザと同様になり、安心した社会になれば「未来へつなぐ町内会ささえあい条例」のごとく「新しい景色」を見ること可能と確信しています。

篠路茨戸連合町内会の会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ新年の挨拶といたします。

「年頭のあいさつ」

環境部長 畑 中 剛

新年あけましておめでとうございます。

二〇二〇(令和二年)にコロナ感染が世界中に拡がり、その感染拡大防止による多くの活動制限・活動条件等の為、二〇二一(令和三年)は環境部としても何も出来る状況ではありませんでした。しかし、二〇二二(令和四)年度は感染対策を徹底し篠路駅東側の開発に伴い清掃活動を実施しました。

まだ冷たい風の吹く五月、真夏日が続いた七月、残暑の九月の計三回！連合町内会役員・篠路出張所所長・札幌市北区職員・地域のボランティア団体等、多くの参加者のご協力を頂き誠にありがとうございました。

二〇二三(令和五)年も引き続き宜しくお願いいたします。

「防災防犯部 令和四年度活動報告」

防災防犯部長 小野 紘一

「防災関連」

本年度は我が連合町内会地域での大きな災害の発生は幸いありませんでした。

札幌市はこの冬の雪対策を発表し、広報札幌十二月号に昨年二月のような大雪に備える対策を掲載しております。

連合町内会防災防犯部主催の行事は、三年ぶりに防災研修会を実施しました。

令和四年十一月二十九日、札幌防災センター事務局長、横井寿郎氏による心にとどく防災・減災。

札幌市主催の防災関連行事は次の通りです。

避難所運営研修会(HUG)

札幌市危機管理局

令和四年七月二十六日篠路中学校、

二十七日篠路小学校・茨戸小学校

拠点給水施設(緊急貯水槽)現地説明会

札幌市水道局

令和四年八月十八日

篠路コミュニティセンター

緊急貯水槽 設置場所

「防犯関連」

防犯街頭啓発活動

篠路茨戸地区防犯協会主催

令和四年六月～十二月 偶数月

年金支給日

篠路地域金融機関周辺

防犯公園パトロール

Cネット会議青少年部会主催

令和四年七月～九月 年六回

地域管内各公園

篠路神社御例祭防犯パトロール

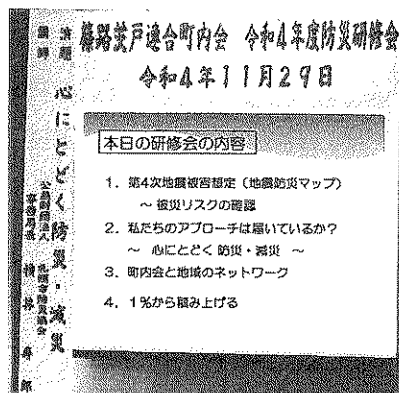
Cネット会議青少年部会主催

令和四年九月七・八日

篠路神社周辺地域

「防災研修会」

講師、横井寿郎氏の講演



「社会部活動報告」

社会部長 藤林 昭二

新年あけましておめでとうございます。社会部の主要事業活動は、コロナ禍三年目の中で元通りとはいきませんが、「篠路チョボラ会」「篠路チョコットお助けたい」「しのろ茨戸健康づくりの会」など、各関係団体の活動が前年より多く開催されています。

高齢者や子ども達の交流推進活動の中で、三年ぶりに、篠路茨戸地区少年少女スポーツ大会(八月二十七日)や親子ふれあいの旅(九月十一日)、こども餅つきふれあいの交流会(十二月十七日)が開催され、大いに喜ばれた事を確認しています。第二十一回篠路茨戸連合町内会、会長杯PG大会(九月二十一日)は参加者四十五名で開催しました。

見守り活動は、地域による援助体制を固めるためにも継続して取り組んでいます。

「今年度を振り返って」

交通部長 矢瀬 章

今春から交通部長になって、はや一年が経過しようとしています。春と秋の二回街頭啓発を実施したところ

ろですが、雨模様やコロナ禍の影響もあって各町内会の会長の参加も思ったより少なかったのではないのでしょうか。

そんな中で北区役所・北警察署・札幌市北区交通安全運動推進委員会などの関係機関の協力を得ながら、無事に終えることができました。

また、開催日には白バイ隊、パトカーが応援に来てくださり心強かったです。

私共高齢者(?)は、目や体力の衰えが始まっていますが、通院・買い物など自動車がなくてはならないツールです。また、夏場には自転車もかりです。

是非、安全運転に気を配り、安心・安全な街へと変わっていくことを願っています。

「第十九回篠路シルバー水曜大学」開催！

文化部長 大沼 満

新型コロナウイルス感染症の拡大のため二年間中止を余儀なくされたシルバー水曜大学でしたが、令和四年七月、三年ぶりに開催しました。開催にあたって、しっかりとした感染症対策はもちろん、募集人数の縮小、受講回数を八回と少なくすることを実行委員会で議論を重ねました。このような条件のもと、どのくらい応募者が集まるのか不安でしたが、いざフタを

開けてみると、三十名の募集に二十七名の申し込みがあり安堵しました。

七月十二日の開校式直後から、コロナ感染症が徐々に拡大し受講者に感染が広がることを心配しましたが、各自が健康管理に努め全員八月三十一日の修了式に挑みました。

コロナ禍でのシルバー水曜大学の実施は、今後の貴重な経験となり、次年度へ向けて、とても意義のあるものとなりました。改めて、実行委員各位と事務局を担っていただいたコミュニティセンターの本橋館長はじめスタッフの皆さんに感謝申し上げます。



篠路シルバー水曜大学ミニコンサート

女性部便り

篠路茨戸連合町内会

女性部長 宇内光枝

新年あけましておめでとうございます。

令和四年度は会食はできませんでしたが、皆様のご協力で健康検診・会議・講演会・篠路音頭の披露など無事終了する事が出来ました。

また、令和四年度の複十字シール募金運動では、各町内会様よりご協力をいただき募金額十八万八千円を十二月に北海道結核予防会へ納金する事が出来ました。有難うございました。「篠路音頭のメンバー募集しています」

令和五年度の胃・大腸ガン・肺がんの検診日程を下記のとおりご案内申し上げます。

令和五年度の胃がん大腸がん検診 予定日

月日	曜日	胃・大腸がん検診会場
5月13日	土	北光団地会館
5月27日	土	篠路こまどり会館
5月28日	日	横新道二条会館
6月4日	日	豊明高等支援学校
6月9日	金	篠路駅前団地福祉会館
6月13日	火	篠路駅前団地福祉会館
6月18日	日	篠路駅前団地福祉会館
7月30日	日	篠路コミュニティセンター合同
8月25日	金	篠路会館
9月6日	水	篠路西部会館
9月10日	日	横新道会館
9月29日	金	十軒会館合同検診

篠路茨戸連合町内会女性部長

宇内光枝

電話・FAX 七二一七八四五

「北区連合町内会女性部連絡協議会に参加して
振り返りと躍進を願って」

女性部副部長 九石和恵

新年明けましておめでとうございます。
昨年十一月「北区連合町内会女性部連絡協議会」が三年ぶりに開催されました。北区十一連町女性部の交流の場でもあります。今回の内容は「女性部の行事・活動に

ついて」というテーマについて事前調査があり、その結果についての意見交換会ハーバリウム研修でした。

設問は、①コロナ前後の行事状況②活動のやりがい、苦勞、悩み③担い手確保の工夫④参加しやすい工夫などでした。

参加して感じたことは、どこの女性部もコロナ禍にめげず、後継者不足という悩みを抱えながらそれらの条件を克服し、参加しやすい工夫をこらして行事を行っていた事です。

さて我が篠路茨戸連合町内会女性部も、今年の兎年に肖ってピョンと飛躍できる年になることを願っております。

「年頭のあいさつ」

女性部副部長

阿部 栄子

新年あけましておめでとうございます。

連町の行事も、人数制限があつたりしますが少しずつ参加する数が増えています。

昨年のサッカーワールドカップで長友選手が「ブラボー」と言っていました。今年にはコロナも収まり、すべての行事に人数制限がなくブラボーな一年だったと言える年になる様に願ひながら、皆さんと共に活動してゆきたいと思ひますので今年もどうぞよろしくお願い致します。

「年頭のあいさつ」

監事 山口 重則

謹んで新春をお祝い申し上げます。

令和四年を振り返り、いまだコロナ禍も落ち着かず連合町内会や単位町内会・自治会におかれましては昨年に引き続き各種イベントの中止等で活動に支障があつた年でした。

新たな年を迎え、制約を受けることなく楽しく活動ができる年でありますようお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年も宜しくお願い申し上げます。

「篠路茨戸連合町内会創立七十年

記念式典部の経過報告」

記念式典部

大沼 満

昭和二十八年、篠路連合町内会として草創氏し、令和五年をもって本連合町内会は創立七十周年を迎えます。

この七十年という節目にあたり本連合町内会では令和三年五月「記念式典及び祝賀会」を催すことを決定しました。ただし新型コロナウイルス感染症が依然として収束の目途がたたないことから、感染状況を見極めながら実施の判断をすることになります。令和四年度になり各町内会の活動も徐々

に復活し、行政の行動規制も緩和されたことから、祝賀会を開催することを前提に実施日時、会場を左記のとおり決定しました。

日時 令和五年十月二十一日(土)

会場 ガトーキングダムサッポロ

を予定しています。

(今後のコロナ感染状況によつては変更があります)

「連合町内会創立七十年記念誌

編集を進めております」

記念誌部

小野 紘一

令和三年五月、連合町内会役員会において五名の部員が選抜されました。その後令和四年九月に二名の追加があり、オプザーバー一名とあわせ八名の編集スタッフで現在鋭意議論を進めているところとす。

スタート時コロナ感染状況でもあり、書面によるリモート準備会を経て、この十二月十九日で二十回の編集会議を終えました。部員メンバーは左記の通りです。

総務部長 梅内 敏光

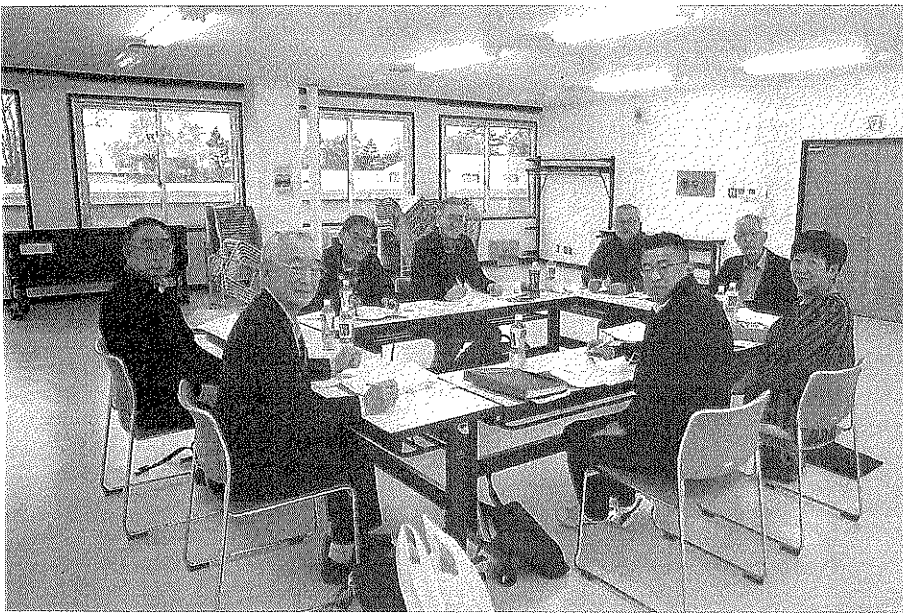
庶務部長 島田 捷利

会計部長 吉田 剛

広報部長 田村 美智代

環境部長 畑 中 剛

防災防犯部長 小野 紘一
 交通部長 矢 瀬 章
 監 事 山 口 重 則
 現時点での編集状況を、この場を借りて
 中間ご報告いたします。
 ページ数 約一〇〇ページ前後
 原稿執筆者 約八十名前後
 発行時期 令和六年二月頃
 発行部数 未定



編集委員会議

健康かわら版

篠路出張所 保健師 松 浦 恵 麻

【笑顔の力】

外出時にマスクをするのが当たり前の生活が続いています。「マスクをした方が、身だしなみが楽」という意見もありますが、マスク下の「笑顔」を省略すると、いつの間にか表情筋がたるんでしまう「マスク老け」という言葉もあるそうです。

「笑顔」は、健康にも良い影響を与えることがわかっています。笑うことで、ウイルスに感染した細胞を攻撃する免疫細胞（ナチュラルキラー細胞）が活性化し、がんや感染症が発症しにくくなるという仕組みです。その他にも、笑顔には、

- 血糖値の上昇を抑える
- 痛みを和らげる
- アレルギー反応を抑える
- 認知機能の低下を予防する

などの効用があります。

冬は、コロナ以外にもインフルエンザやノロウイルスの元気な季節です。免疫力アップのため、マスクの下はニッコリ笑顔で、元気に過ごしていきましょう。



【訂正】

広報篠路茨戸一〇〇号で間違いがありました。

（誤）十軒清和会町内会

（正）十軒静和会町内会

当町内会の皆様にはご迷惑おかけしました。

編集後記

田 村 美智代

広報篠路茨戸一〇一号です。今年度は篠路出張所が隣地に新築移転しました。連合町内会としまして、新型コロナウイルス感染拡大の懸念から行事が中止になることも多くありました。その中でも工夫をしながら行事を開催している関係団体・町内会・自治会も見られます。

今回の広報では篠路茨戸連合町内会創立七十周年に向けての活動の一部を紹介しています。

篠路茨戸地区の皆様の益々のご活躍を願っております。